

タイ語物語における心内思考に含まれる SELF 表現

高橋 清子¹

1. はじめに

研究演習で学生とともにタイ語の小説を読む機会がある。その中で学生が解釈を誤りやすい表現があることに気付いた。それは心内思考（意識、独話）²に含まれる SELF 表現（意識主体と照応する名詞類）である。(1)–(6)の下線部分はその例である。例えば、(1)の SELF 表現「ผม 私」は心内思考の主体「ผม 私」と照応する。言い換えれば、意識主体照応的 logophoric な文脈で使われている。学生にとって、(1)–(4)、(6)の「ผม 私」「ตัวเอง、ตนเอง 自身³」「พวกเรา 私達」の解釈は容易だが、(4)、(5)の「เขา 彼」「พ่อ 父」の解釈は難しい。

(1) ผมรู้ตัวว่า ผม ไม่รักเธอ

私_私は私は彼女を愛していない]と自認する。

¹ 神田外語大学外国語学部アジア言語学科タイ語専攻教授

² 廣瀬・長谷川（2010: 182）は小説における言語使用形態として「意識描写」「心内発話（心の中で自己に語りかける場合と他者に語りかける場合）」「会話」という 3 つの区分を提示した。本稿の「心内思考」とは「意識描写」と「自己に語りかける心内発話」を包摂する概念である。

³ 「ตัวเอง 自身」「ตนเอง 自身」（自身名詞）は「ตัว 自己（<～頭/匹（動物の類別詞）、身体）」「ตน 自己（自己名詞）」と「～เอง ～自身」が組み合わされた表現である。เอง は他の名詞と組み合わせて使うこともできる（例：（ตัว）ผมเอง 我自己、（ตัว）เขาเอง 他自己、（ตัว）พ่อเอง 我自己）。เอง にはその他の機能もある。「まさに、それこそ」といった特立（評価）の意味を添える焦点標識として機能したり（例：ผมเอง 我こそ、まさに私、อย่างนี้เอง まさにこう）、「自分で、自分で、自ら、ひとりだけで」といった副詞の意味を表したりする（例：ทำเอง 自分自身です、เกิดขึ้นเอง ひとりでに生じる）。เอง を伴わない自己名詞（ตัว、ตน）は意識主体と照応する SELF 表現とは認めがたく、本稿では SELF 表現として扱わない。なお、ตัวเอง と ตัว は親密な相手に対する二人称代名詞としても使われる。

- (2) ผม, ไม่คิดว่า [ตัวเอง, จะเป็นคนแบบพ่อได้]
私₁ は[自身₁ は父のような人になれる]と思わない。
- (3) เขา, คิดว่า [ตนเอง, ไม่ได้เกลียด]
彼₁ は[自身₁ は憎悪しているのではない]と思う。
- (4) แต่ความแข็งแกร่งของลิลิธก็ทำให้ผู้ชาย, กลัว กลัวว่า [เธอจะควบคุมเขา,] กลัวว่า [ตัวเอง, จะสูญเสียอำนาจไป]
しかしリリットの頑なさは男性₁ を怯えさせる。[彼女(リリット)が彼₁ を支配する]のではないかと怯えるのである。[自身₁ が権力を失う]のではないかと怯えるのである。
- (5) พ่อ, รู้ดีว่า [ลูกชายพ่อ, ไม่ใช่คนฉาบฉวย]
父₁ は[父₁ の息子はいい加減な人間ではない]とよく理解している。
- (6) [ต้องทำให้พวกนั้นกลัวและไม่กล้าทำอีก พวกเรา, จะได้อยู่กันอย่างสงบ] เด็กสาว, คิด
[やつらを怖がらせいじめを止めさせなければならない、そうすれば私達₁ は平穩に過ごせる]と女の子(主人公のサンディー)₁ は考えた。

タイ語でも日本語と同様、意識主体と照応する SELF 表現がなくとも談話文脈や統語環境から無理なく解釈できるときには SELF 表現は使われないことが多い(例: 私は[彼女を愛していない]と自認する)。⁴ しかし SELF 表現が使われるとき、日本語よりタイ語のほうが表現の使い分けが複雑だ。学生が解釈を誤る背景にはそのような日タイ間の違いがある。

本稿の目的は、タイ語物語における心内思考に含まれる SELF 表現の特徴を詳述することである。まず、SELF 表現について解説する(第2節)。次に、関連研究で提示されている分析概念を援用してタイ語物語の語りの様式を分類し、筆者が収集した各種 SELF 表現⁵の使用傾向を調べる(第3節)。最後に、本稿の考

⁴ 本稿では SELF 表現が使われない場合については分析しない。

⁵ 本稿の分析データとして13編の小説から計89トークンの SELF 表現の用例を収集した。その全てを本稿末尾の「付録:小説の用例」に載せた。一部、TNC: Thai National Corpus

察結果を簡潔にまとめる（第4節）。

2. SELF 表現

心内思考に含まれる SELF 表現とは、心内思考（意識、独話）の描写の中で使われ、意識主体を明示的に指し示す名詞類（代名詞、自身名詞、自称に使われる親族名など）のことである。アフリカの多くの言語では、報告されている発話や思考や感情や意識全般の主体が報告している人自身であるとき（すなわち意識主体照応的な文脈において）通常の代名詞とは区別された特別な代名詞（意識主体照応代名詞 *logophoric pronouns*）が使われることが知られている（e.g. Hagège 1974, Clements 1975）。そうした代名詞と同じような使われ方をするタイ語の名詞類を本稿では便宜的に SELF 表現と呼ぶ。⁶ SELF とは談話における根源的役割 *primitive roles in discourse* (Sells 1987: 455) の3要素 (SOURCE、SELF、PIVOT) の1つである。SOURCE は報告を成す人（意志的に語る「コミュニケーション主体」）、SELF はその心が報告される人（その心的状態や心的態度が描写の対象となっている「意識主体」）、PIVOT はその視点から報告が成される人（その立ち位置から描写内容を評価する「視点保持者」）を意味する。

3. 語りの様式と各種 SELF 表現

語りの様式として直接話法 *direct speech* と間接話法 *indirect speech* がよく知られている。この区別は *de re vs. de dicto domain* (Frajzyngier 1991) という認識的な基準による。直接話法では現実世界 *de re* に関する事実内容が語られ、間接話法では発話や思考の中で話者によって系統立てられた観念世界 *de dicto* に関する断定内容が語られる。一方、報告の様式 *reportive style* (Kuno 1972: 181) と非報告

(Third Edition) (<http://www.arts.chula.ac.th/~ling/tnc3/> (検索日: 2020年7月4日、12日) から収集した用例も参考にした。

⁶ 分析範囲を「心内思考」（意識、独話）に限定している本稿では「発話」は扱わない。

的様式 **non-reportive style** は語られる発話や思考が語り手自身のものかどうかを基準とする区別である。語り手自身のものであれば報告的様式、それ以外であれば非報告的様式となる。これらの基準により英語物語の語りの様式は(7)–(10)のように4つに大きく分類できる。通常、英語物語における心内思考に含まれる SELF 表現は一人称代名詞か三人称代名詞である（例：(7)–(10)の斜体部分）。

- | | |
|---|-------------------------|
| (7) <i>I_i</i> thought “ <i>I_i</i> am pushy.” | Reportive, Direct |
| (8) <i>I_i</i> thought that <i>I_i</i> was pushy. | Reportive, Indirect |
| (9) Mary _i thought “ <i>I_i</i> am pushy.” | Non-reportive, Direct |
| (10) Mary _i thought that <i>she_i</i> was pushy. | Non-reportive, Indirect |

しかしタイ語物語の語りは直接話法なのか間接話法なのかはっきりしないことがある（例：(11)の下線部分）。タイ語には時制がないこと、直接引用標識の使用が必須ではないこと（Burusphat 1986: 213）、現実世界の事実内容か観念世界の断定内容かによる補語節標識/補部節標識 **complementizer** の使い分けがないことなどがその要因として挙げられる。したがって(7)–(10)のような英語の分類をそのままタイ語に当てはめることは難しい。

- (11) “ทราบว่าคุณแม่ที่เคารพ...” ผมจะเริ่มอย่างไรดี มีฉบับปากกาสันติก

「拝啓、母上様…」私は（この手紙を）どう書き始めればよいのか。 ペンを持つ手が小刻みに震える。

(11)の下線部分は物語の主人公の意識を描写したものであるが、英語の自由間接話法 **free indirect speech** に似ているようにも見える。しかし英語の自由間接話法では、物語内の人物を指す SELF 表現として三人称代名詞（**he** など）を使う。言い換えれば、語り手の視点から物語内の人物の意識が語られる。一方(11)では

一人称代名詞「ฉัน私」が使われており、物語内の人物の視点からその人物の意識が語られている。

タイ語物語の語りの様式を分類するときには前節で紹介した談話における根源的役割の3要素（コミュニケーション主体 SOURCE、意識主体 SELF、視点保持者 PIVOT）を考慮するとよい。表1のような分類（Ⅰ～Ⅳタイプ）となる。

表1：タイ語物語の語りの様式

	語り手自身の 心内思考を語る	物語内の人物の心内思考を語る		
		②③が同じ		②③が異なる
①コミュニケーション主体	語り手	語り手		語り手
②意識主体	語り手	特定人物	不特定人物	特定あるいは不特定人物
③視点保持者	語り手	特定人物	不特定人物	語り手
	Ⅰタイプ	Ⅱタイプ	Ⅲタイプ	Ⅳタイプ

小説などの語りにおいて「①コミュニケーション主体 SOURCE」は常に語り手である。「②意識主体 SELF」と「③視点保持者 PIVOT」は語り手である場合もあれば、物語の中の登場人物である場合もある。語り手自身の意識を語る **reportive** 様式（Ⅰタイプ）では、①②③のすべてが語り手である。物語の登場人物の意識を語る **non-reportive** 様式（Ⅱ～Ⅳタイプ）は、②と③が同じ（同一の登場人物）Ⅱ・Ⅲタイプと②と③が異なる（②登場人物、③語り手）Ⅳタイプに大きく分かれる。②と③が同一の登場人物であるタイプは、さらにその登場人物の特定度の違いによって、特定できるⅡタイプ（同一の特定の登場人物）と特定できないⅢタイプ（同一の不特定の登場人物）に分かれる。

先に挙げた用例(1)–(6)の SELF 表現を I～IVのタイプに分類した結果を表 2 に示す。収集した用例全体で、どのような種類の SELF 表現の使用が各タイプで確認されたのかについても、そのトークン数とともに、鍵括弧の中に示す。

表 2：語りの様式のタイプごとの SELF 表現の例とトークン数

Iタイプ	IIタイプ	IIIタイプ	IVタイプ
語り手の心内思考を語り手の視点から語る	物語内の特定人物の心内思考をその人物の視点から語る	物語内の不特定人物の心内思考をその人物の視点から語る	物語内の特定あるいは不特定人物の心内思考を語り手の視点から語る
(1) ผม 私 (2) ตัวเอง 自身	(3) ตนเอง 自身 (5) พ่อ 父 (6) พวกเรา 私達	(4) ตัวเอง 自身	(4) เขา 彼
[一人称代名詞 33] [自身名詞 7]	[自身名詞 6] [親族名 3] [一人称代名詞 2] [固有名 1]	[自身名詞 1]	[三人称代名詞 36]

表 2 から次のことが読み取れる。⁷

第一に、一人称代名詞の SELF 表現は特定人物（語り手あるいは物語内の特定人物）の心内思考をその人物の視点から語るとき（IタイプとIIタイプ）に使われた。特に語り手の心内思考を語り手の視点から語るとき（Iタイプ）に多く使われた。

⁷ IタイプとIIタイプには複数の種類の SELF 表現が使われているが、その異なる種類の使い分け（使用の傾向や制約など）の詳細については考察には至らなかった。

第二に、親族名と固有名の SELF 表現は物語の中に登場する特定人物の心内思考をその人物の視点から語る時（Ⅱタイプ）にしか使われなかった。使用例は非常に少なかった。親族名が3トークンだけ、固有名が1トークンだけ見つかった。今回の調査では疑似的な独話（いわば想像上の対話）の中に SELF 表現としての固有名の使用が見つかった。

第三に、物語の中で言及された不特定人物の心内思考をその人物の視点から語る時（Ⅲタイプ）には自身名詞の SELF 表現だけが使われた。この点に関しては、小説から収集した用例には該当例が1トークンしかなかったため、TNC からも用例を収集して参照したが、反例は見つからなかった。

第四に、自身名詞の SELF 表現は意識主体と視点保持者が一致する語り（Ⅰ～Ⅲタイプ）の中で使われた。つまり、ある人の心内思考がその人自身の視点から語られる場合に、その人が誰であろうと（語り手であろうと物語内の特定人物であろうと不特定人物であろうと）使われていた。

第五に、三人称代名詞の SELF 表現は、自身名詞の SELF 表現とは対照的に、意識主体と視点保持者が一致しない語り（Ⅳタイプ）の中でのみ使われた。つまり、特定人物かどうかにかかわらず物語内の人物の心内思考を語り手の視点から語る時に使われていた。

収集した全 89 トークン（全 12 アイテム）の SELF 表現の種類分けと各種類のトークン数は表 3 の通りである。A～E の 5 種類に分類できた。トークン数が多い種類から順に、(A)三人称代名詞（เขา 彼、เธอ 彼女、มัน 彼）が 36 トークン（40.4%）、(B)一人称代名詞（ผม 私/僕、ฉัน 俺、(พวก)เรา 私達/俺達、ข้าพเจ้า わたくし）が 35 トークン（39.3%）⁸、(C)自身名詞（ตัวเอง 自身、ตนเอง 自身）が 14 トークン

⁸ 三人称代名詞と一人称代名詞の各アイテムに添えた日本語訳は便宜的なものであるが、収集したデータの中でどのような意識主体を指し示しているのか、どのような文脈で使用されているのか、といった実際の使用例における意味をなるべく反映する訳にした。なお、タイ語の代名詞は人称、数、性、格などの値が未確定であるものが多く、文脈に応じて様々な解釈を許す（逆から言えば、文脈がなければ明瞭に解釈できない）ものが多い。

(15.7%)、(D)親族名 (พ่อ 父、ลูก 子) が 3 トークン (3.4%)、(E)固有名 (ฟ้าเดียวกัน ファーディアオカン) が 1 トークン (1.1%) だった。A～C に含まれる複数のアイテムについてはそれらの対比的な意味特徴を簡潔に括弧内に示した。

表 3 : SELF 表現の分類とトークン数

A. 三人称代名詞	36 (40.4%)
เขา 彼 (一般的)	31
เธอ 彼女 (女性、非公式的)	4
แก 彼 (親密、非公式的)	1
B. 一人称代名詞	35 (39.3%)
ผม 私/僕 (男性、公式的)	21
ฉัน 俺 (親密、非公式的)	8
(พวก)เรา 私達/俺達 (複数、非公式的)	4
ข้าพเจ้า わたくし (高度に公式的)	2
C. 自身名詞	14 (15.7%)
ตัวเอง 自身 (一般的)	13
ตนเอง 自身 (公式的)	1
D. 親族名	3 (3.4%)
พ่อ 父	2
ลูก 子	1
E. 固有名	1 (1.1%)
ฟ้าเดียวกัน ファーディアオカン	1
合計	89 (100%)

表 3 から次のことが分かる。

第一に、英語と同様、タイ語でも代名詞（三人称代名詞、一人称代名詞）をSELF表現として使用することが多い。代名詞の使用はSELF表現全体の79.7%を占めた。ただし英語と異なり、タイ語ではかなり多様な代名詞が使い分けられている。今回の調査では、三人称代名詞については3つのアイテム（เขา、เธอ、มัน）、一人称代名詞については4つのアイテム（ผม、ข้า、(พวก)เรา、ข้าพเจ้า）の使用が確認された。分析データをさらに増やせば、その他のアイテムの使用も確認される可能性が高い。先に述べた通り、一人称代名詞は語り手を含む特定人物の心内思考をその人物の視点から語るときに使われ、三人称代名詞は物語に登場する人物の心内思考を語り手の視点から語るときに使われる。使用が確認された各アイテムの意味特徴を見ると、SELF表現の選択にあたっては、意識主体の性別といった意味論的な人物属性についてだけでなく、公式的（疎遠）か非公式的（親密）かといった語用論的な言語使用域 register についても配慮が及んでいることがうかがえる。

第二に、日本語と同様、タイ語でも自身名詞（ตัวเอง、ตนเอง）をSELF表現として使う。先に述べた通り、自身名詞は、語り手であれ物語に登場する人物であれ、その人物の心内思考がその人物自身の視点から語られるときに広く使うことができる。非公式的な日常の文体の中ではตัวเองが、公式的な硬い文体の中ではตนเองが使われる傾向がある。

第三に、親族名（พ่อ 父、ลูก 子）や固有名（ฟ้าเดียวกัน ファーディアオカン）もごく少数ながらSELF表現として使われていた。親密な間柄での自称や呼称（対称）や他称（言及称）に使われる親族名や固有名がSELF表現として使われているという事実は、意識主体と他者との間の社会的関係性についてもSELF表現の選択にあたっては考慮されており、その関係性を明示的に表現したいときは親族名や固有名などを敢えて使う場合があることを意味する。

ここで本稿の冒頭で言及した学生が解釈を誤りやすいSELF表現の例（下に(12)、(13)として再掲する）に立ち戻って日タイの違いについて考えたい。

- (12) แต่ความแข็งแกร่งของลิลิธก็ทำให้ผู้ชาย, กลัว กลัวว่า [เธอจะควบคุมเขา] กลัวว่าตัวเองจะสูญเสียอำนาจไป

しかしリリットの頑なさは男性_i を怯えさせる。[彼女（リリット）が彼_i を支配する]のではないかと怯えるのである。自身が権力を失うのではないかと怯えるのである。

- (13) พ่อ, รู้ดีว่า [ลูกชายพ่อ, ไม่ใช่คนฉลาดเลย]

父_i は[父_i の息子はいい加減な人間ではない]とよく分かっている。

(12)の鍵括弧を含む部分はIVタイプの語りである。物語内の不特定人物である「ผู้ชาย 男性」の心内思考が語り手の視点から語られている。日本語では物語内の人物を指す SELF 表現として三人称代名詞を使うことはない。つまり、物語内の人物の心内思考について語り手の視点から語ることはない。物語内の人物の心内思考については必ずその人物の視点から語る。すなわちIIタイプやIIIタイプの語りとなる。その場合、「自分」を SELF 表現として使うのが一般的である（例：男性_i は[彼女が自分_i を支配する]のではないかと怯える）。一方タイ語では、三人称代名詞を使って物語内の人物の心内思考を語り手の視点から語ることもできれば、自身名詞を使って物語内の人物や語り手の心内思考をその本人の視点から語ることもできる。その点が興味深い。⁹

(13)はIIタイプの語りである。物語内の特定人物である「พ่อ 父」の心内思考がその人物の視点から語られている。¹⁰ 日本語では、タイ語と同様、自称や呼称

⁹ Hirose (2000: 1652)によると、英語物語の語り手が三人称代名詞を SELF 表現として使うのは、英語には日本語の「自分」のような私的自己 private self (聞き手への伝達/コミュニケーションを意図していない意識主体)を意味する特別な語がないためであるという。タイ語物語における SELF 表現の使い方を丁寧に考察することでその主張の妥当性を検証できるかもしれない。注13も参照のこと。

¹⁰ (13)の SELF 表現の「พ่อ 父」は自称である。意識主体の「พ่อ 父」の視点から自身を「พ่อ 父」と指し示していると考えられる。もし他称であれば、語り手（息子）の視点から意識主体の「พ่อ 父」を「พ่อ 父」と指し示していることになり、IVタイプの語りと捉えられるこ

や他称に親族名を使うことがあるが¹¹、心内思考の描写の中の SELF 表現に親族名を使うことはない。Ⅱタイプの語りにおいても「自分」を SELF 表現として使うのが一般的である(例:父,は[自分],の息子はいいい加減な人間ではない)とよく理解している)。¹² 一方タイ語では、心内思考の描写の中においても物語内の人物を指す SELF 表現として親族名を使うことがある。

まとめると、日本語ではタイ語のように意識主体を指す SELF 表現として三人称代名詞を使ったり親族名を使ったりすることがないため、日本語話者が(12)や(13)のような SELF 表現に遭遇すると、どう解釈すべきか戸惑うのである。言い換えれば、日本語話者にとって(12)の「เขา 彼」と(13)の「พ่อ 父」の解釈が難しいのは、どちらも日本語で考えると容認できない SELF 表現だからである。また、(12)の「เขา 彼」の解釈が難しいもう一つの理由として、すぐ後ろに続く同一人物の心内思考の描写の中で「เขา 彼」とは異なる「ตัวเอง 自身」が SELF 表現として使われていることが挙げられる。(12)の三人称代名詞「เขา 彼」は語り手の視点からの描写(Ⅳタイプ)であるのに対し、(12)の自身名詞「ตัวเอง 自身」は物語内の不特定人物(男性)の視点からの描写(Ⅲタイプ)である。このように連続する心内思考の描写の中で唐突に視点保持者が入れ替わることは日本語では一般的ではない。

4. おわりに

今回の調査によって、タイ語物語における心内思考に含まれる SELF 表現の特徴が以下の通り明らかになった。

とになるが、語り手(息子)の視点から「父の息子」と描写するのはおかしい。

¹¹ ただし日本語ではタイ語のように年下の親族名(子、弟、妹など)を自称や呼称に使うことはない。

¹² 「発話」(対話)であれば、「自分」より一人称代名詞を使うほうが一般的である(例:父,は[俺],の息子はいいい加減な人間ではない)と言う)。また、自称の親族名を使うこともある(例:父,は[父さん],の息子はいいい加減な人間ではない)と言う)。

タイ語の SELF 表現は、英語や日本語に比べると、かなり多様である。今回の調査で5種類（全12アイテム）が見つかった。

各アイテムは「意識主体は特定の人物か」「視点保持者は誰か」「意識主体はいかなる社会的立場にあるか」「いかなる談話状況で語られているか」といった基準によって使い分けられている。より詳しく言えば、「意識主体は語り手か、物語内の特定人物か、不特定人物か」「視点保持者は意識主体と同一か」という意味論的基準と「意識主体は他の人物とどのような社会的関係にあるのか」「当該談話状況に相応しいアイテムはどれか」という語用論的基準の両方が SELF 表現の選択に関わる。

最も使用例が多かった SELF 表現は三人称代名詞で、物語内の人物の心内思考を語り手の視点から語る時（IVタイプ）に使われていた。IVタイプには三人称代名詞だけが使われていた。二番目に多かったのは一人称代名詞で、その多くは語り手の心内思考を語り手自身の視点から語る時（Iタイプ）に使われていたが、物語内の特定人物の心内思考をその人物の視点から語る時（IIタイプ）に使われている例もわずかにあった。三番目に多かったのは自身名詞で、ある人の心内思考をその人自身の視点から語る時（I～IIIタイプ）に使われていた。IタイプとIIタイプに多く使われていたが、物語内の不特定人物の心内思考をその人物の視点から語る時（IIIタイプ）に使われている例もわずかにあった。IIIタイプには自身名詞だけが使われていた。

同一人物の心内思考の描写が複数連続しているとき、そのそれぞれの中に生起する SELF 表現の視点保持者は必ずしも同一であるとは限らない。タイ語ではかなり自由に視点保持者の移行がなされる。

心内思考（独話）は聞き手への伝達/コミュニケーションを意図していない。¹³

¹³ Hirose (1995, 2000) はそのような聞き手への伝達/コミュニケーションを意図していない表現のことを私的表現 *private expression* と呼び、対照的に、聞き手への伝達/コミュニケーションを意図した表現のことを公的表現 *public expression* と呼ぶ。思考動詞 *verbs of*

それにもかかわらず、タイ語物語における心内思考の描写においては、あたかも聞き手への伝達/コミュニケーションが想定されているかのように、その心内思考の意識主体が関連人物とどのような関係にあるのかを示唆する SELF 表現（代名詞や自身名詞の多様なアイテム、親族名、固有名など）の使い方が見られる。対話のように個別の聞き手がいるわけではない心内思考を描写するときでも、タイ語物語の語り手は人物間の関係性や言語使用域を考慮した上でそれらの語用論的特徴に相応しい SELF 表現を選択している。

以上は今回の調査の分析結果である。今後分析データを増やすことによって、より詳細な結果が得られたり今回とは異なる結果が得られたりする可能性もある。

謝辞

本稿は 17th International Pragmatics Conference におけるパネル「Solitude speech: cross-linguistic approaches to monologue」(28 June 2021) で口頭発表した論文 Takahashi (2021) と一部重なる。有益な助言や示唆をいただいたパネル企画者の井筒美津子氏と井筒勝信氏およびパネル参加者の方々 (Yongtaeg Kim 氏、Stef Spronck 氏、Daniela Caluianu 氏、小熊猛氏) に感謝申し上げる。本稿は科研費 JP19H01264 (代表: 松本曜) および国立国語研究所共同研究プロジェクト「対照言語学的観点から見た日本語の音声と文法」の助成を受けている。

参考文献

Burusphat, Somsonge. 1986. *The structure of Thai narrative discourse*. Ph.D. dissertation,

thinking の補語節/補部節 reported-clause complement は、疑似的な伝達行為 (心内発話) を表すときを除き、私的表現であるという。そして私的表現の主体 (思考主体) を私的自己 private self、公的表現の主体 (伝達主体) を公的自己 public self と呼ぶ。日本語では私的自己は専ら「自分」で表され、公的自己は様々な自称語 (一人称代名詞「ぼく、わたし、わたくし、おれ、あたし、おいら/おら、あたい」や親族名「お父さん、お母さん」や職業名「先生」など) で表される。英語では私的自己は様々な代名詞で表され、公的自己は専ら一人称代名詞「I」で表される。

University of Texas at Arlington.

- Clements, George Nickerson. 1975. The logophoric pronoun in Ewa: Its role in discourse. *Journal of West African Languages* 10(2): 141–177.
- Frajzyngier, Zygmunt. 1991. De dicto domain in language. In Elizabeth Closs Traugott and Bernd Heine. (eds.) *Approaches to Grammaticalization*, Volume 1, pp. 219–251. Amsterdam: John Benjamins.
- Hagège, Claude. 1974. Les pronoms logophoriques. *Bulletin de la Société de Linguistique de Paris* 69: 287–310.
- Hirose, Yukio. 1995. Direct and indirect speech as quotations of public and private expression. *Lingua* 95: 223–238.
- Hirose, Yukio. 2000. Public and private self as two aspects of the speaker: A contrastive study of Japanese and English. *Journal of Pragmatics* 32: 1623–1656.
- Kuno, Susumu. 1972. Pronominalization, reflexivization, and direct discourse. *Linguistic Inquiry* 3(2): 161–195.
- Sells, Peter. 1987. Aspects of logophoricity. *Linguistic Inquiry* 18(3): 445–479.
- Takahashi, Kiyoko. 2021. Thai narrative discourses of internal thoughts with SELF expressions. Oral presentation at 17th International Pragmatics Conference, 27 June–2 July 2021, Winterthur, Switzerland (online).
- 廣瀬幸生・長谷川葉子. 2010. 『日本語から見た日本人：主体性の言語学』東京：開拓社.

用例の出所（小説）

- ชาติ กอบจิตติ. ๒๕๓๒1989. นครไม่เป็นไร. กรุงเทพฯ: คณวรรณกรรม. (5th edition, 1999. กรุงเทพฯ: ทอน.)
คน, หมา, นก. (6 หน้า) ๒๕๒๗1984.
เรียงความเรื่องบทสวดมนต์. (3 หน้า) ๒๕๒๗1984.
หายไปกับลมหายใจ. (10 หน้า) ๒๕๒๗1984.
- ศิลา โคมฉาย. ๒๕๓๕ 1992. ครอบครัวกลางถนน. กรุงเทพฯ: มิ่งมิตร. (3rd edition, 1993)
ขาซ้ายของแม่. (9 หน้า) ๒๕๓๕1991.
ถ้าผมเป็นพ่อ. (9 หน้า) ๒๕๓๒1989.
กินเหน็บหนาว. (9 หน้า) ๒๕๓๕1992.
- วัชร วัลละสารสิน. ๒๕๕๑2008. เราหลงลืมอะไรบางอย่าง. ปทุมธานี: นาคกร. (14th edition, 2012)
วิทยานิพนธ์ตีเต็น. (20 หน้า) ๒๕๔๔2001.
ฟ้าเดียวกัน. (20 หน้า) ๒๕๔๙2006.
- จเด็จ กำจรเดช. ๒๕๕๔2011. แดดเช้า ร้อนเกินกว่าจะนั่งจิบกาแฟ. กรุงเทพฯ: ผจญภัย. (16th edition, 2019)
อยากได้สักบทเรียนใหม่. (24 หน้า) ๒๕๕๓2010.
หวังว่ากีมาซังจะไม่พลาดอีก. (14 หน้า) ๒๕๔๘2005.
- จิตานันท์ เหลืองเพียรสมุท. ๒๕๖๐2017. สิงโตนอกคอก. กรุงเทพฯ: แพรว. (2nd edition, 2017)
อดัมกับลิธ. (21 หน้า) ๒๕๕๘2015.
สิงโตนอกคอก. (30 หน้า) ๒๕๕๗2014.
- อุทิศ เหมะมูล. ๒๕๕๒2009. ลับแล, แก่งคอย. (444 หน้า) กรุงเทพฯ: แพรว. (10th edition, 2009)

付録：小説の用例

Monologue

Reportive

〈一人称代名詞〉

เรียงความเรื่องบทสวดมนต์

p.33 และข้าพเจ้าคิดว่า บัดนี้เพื่อนเด็กวัยรุ่นนี้เกี่ยวกับข้าพเจ้า คงลืมบทสวดมนต์ที่เคยท่องกันหมดแล้ว ก็คงด้วยเหตุผลเกี่ยวกับข้าพเจ้านี่เอง

ขาซ้ายของแม่

p.19 “กราบเท้าคุณแม่ที่เคารพ...” ผมจะเริ่มตอนอย่างไรดี มือจับปากกาสั่นกึก

ถ้าผมเป็นพ่อ

p.22 พ่อจะรู้สึกอย่างไรถ้าถูกพลั้งลืกลีบบีบเค้นจนอยู่ไม่เป็นสุข (.....) ผมจะเรียกพลั้งลืกลีบนั้นว่าอะไรดีละ ในเมื่อต้องสูญเสียความเป็นตัวของตัวเองไปแล้ว

p.24-25 แต่ถ้าหากวันนั้นของพ่ออยู่ในวันนี้ ก็อาจจะไม่ต่างจากผม ...

p.26 มีหรือ ขออภัยผม พ่อจะปิดตาหนีจากภาพอันปั่นใจให้เกิดสุขขาน และเจ็บเสียวเหมือนเปรี้ยวอมหวาน

อยากได้สักบทเรียนใหม่

p.132 ผมพยายามคิดว่า อะไรกันหนอที่นำพาผมมาถึงเมืองนี้ อะไรกันที่ชักนำให้ผมต้องทำงานนี้ ชะตากรรมหรือว่าจะไร่นำพา

p.132 แต่ผมไม่อาจหนีมัน แล้วสิ่งที่ผมอยากทำนะหรือ? ความฝันของผมหรือ?

หวังว่ากิมาซ์จะพลาดอีก

p.219 กิมาซ์พลาดลูกเมียข้าแล้วเหลือข้าไว้ทำไม ข้าจะทำอะไรได้ หรือว่ากิมาซ์ตัดสินใจผิดพลาดอีกแล้ว!

p.222 หยิบจับทำอะไรไม่ถูก ฤทธาภภาพของกิมาซ์ทำเอาข้าส่งไปทั้งตัว นี่ข้าควรอ้อนวอนหรือก่นด่ากิมาซ์กันแน่

p.222 หรือนี่เป็นเหตุผลที่กิมาซ์ไว้ชีวิตข้า ถ้าใช่ - ข้าไม่ต้องการ

p.225 ข้าก็กังวลว่าถ้านางเจ็บท้องคลอดขึ้นมาตอนนี้ เราจะทำเช่นไร

p.225 “พรุ่งนี้เรามีหน้าที่ต้องทำ” ปาปาทหมายถึงก้นหาศพ นั่นหรือหน้าที่ของเรา?

p.226 แต่วันนี้ ข้าตั้งพวกเขาขึ้นมาจากโคลน กิมาซ์มอบหน้าที่นี้ให้ข้าหรือ บางทีศพที่ข้าตั้งขึ้นมาในวันนี้ อาจเป็นเพื่อนคนที่ช่วยชีวิตข้าไว้

อดีตกับอดีต

- p.119 ผมรู้เลยว่าผมหน้าเหมือนพ่อ ผมหน้าเหมือนผู้ชายที่สามารถเปลี่ยนผู้หญิงได้ทีละสองคน ผมรู้แค่นั้น
- p.119 แม่เธอจะไม่เคยแสดงให้รู้ แต่ผมสามารถรู้ได้ว่าผมไม่ใช่ตัวจริงของเธอ
- p.119 ผมสงสัยว่าถ้าหากผมเป็นแบบพ่อ เวิร์จะตกเป็นของผมใหม่
- p.121 ผมไม่รู้สึกว่าตัวเองเป็นเวลาที่มึนในบางเวลาอีกแล้ว ผมรู้สึกว่าผมเป็นเขาอยู่ ตลอดเวลา
- p.124 เธอคือเจ้าหญิงของผม ผมควรจะทำตัวดีต่อเธอ ทว่าผมได้เธอมาเพราะผมเลวทรามเพียงพอ ดังนั้นผมจึงไม่แน่ใจว่า ผมควรกลับตัวรีเปล่า
- p.124 ผมรู้ตัวว่าผมไม่รักเธอ หากวันไหนเธอเดินลับหัวมุมถนนแล้วไม่กลับมาอีก ผมก็จะลืมเธอภายในสองเดือน
- p.124 ผมรู้ตัวอยู่เสมอว่า ผมรักเธอ รักมากที่สุดเท่าที่มนุษย์จะรักใคร่ได้
- p.126-127 ผมคิดไปเองว่าเธอจะยอมรับได้ในเสี้ยววินาที และก็แค่เดินออกไป ลืมผมสนิทเหมือนทารกนั้นงอกขึ้นในท้องของเธอได้เอง จากนั้นเธอก็จะเลี้ยงเด็กไปคนเดียวอย่างเข้มแข็งและมั่นคง
- p.127 ผมมองตามแผ่นหลังนั้น เชื่ออยู่ในใจว่าเจ้าหญิงของผมจะไม่เป็นไร
- p.127-128 ผมจะรู้ได้อย่างไรว่าแม่ลิธที่แสนเศร้าของผมจะไม่กระโดดลงรางรถไฟ
- p.128 ไม่มีทางรู้ว่าเราจะทำตามที่ผมขอหรือไม่ แต่อย่างน้อยผมก็จะทำสิ่งที่ผมทำได้

〈自身名詞〉

ถ้าผมเป็นพ่อ

- p.27 เล่นเองเพราะรู้ว่า ตัวเองหนักตรงไหน

อดีตกับอดีต

- p.115 และคนสุดท้าย เรา ผมคิดว่าเราดีมีรักเธอที่สุด แต่บางทีผมอาจจะคิดเข้าข้างแม่ของตัวเอง เวลาดีมีเราอาจจะรักษาเนี่ยมากกว่าก็ได้
- p.116 ผมไม่คิดว่าตัวเองจะเป็นคนแบบพ่อได้
- p.120 ผมเริ่มทำตัวเหมือนเวลาที่มึนในบันทึก จินตนาการว่าตัวเองเป็นเขา
- p.121 ผมไม่รู้สึกว่าตัวเองเป็นเวลาที่มึนในบางเวลาอีกแล้ว ผมรู้สึกว่าผมเป็นเขาอยู่ ตลอดเวลา
- p.125 เธอเงยหน้าจากกันแก้วมามองผม “ฉันท้อง” ตอนนั้นผมจำได้เลยว่าตัวเองรู้สึกปีติยินดี

ลับแล, แก่งคอย

- p.107 ผมมาอยู่ที่ (...) รู้สึกได้เลยว่า ตัวเองเป็นเพียงสิ่งเล็กๆ คืบคลานงุ่มง่ามอยู่ในความหม่นมัวแปรปรวนของโลกด้าน

สว่างกับด้านมืดมนนธการ

Non-reportive

〈一人称代名詞〉

ฟ้าเดียวกัน

p.218 ฟ้าเดียวกันเข้าใจดีว่า คนเรายอมมีสิทธิส่วนตัวอันพึงสงวนไว้

สิงโตนอกคอก

P.201 ต้องทำให้พวกนั้นกลัวและไม่กล้าทำอีก พวกเราจะได้อยู่กับอย่างสงบ เด็กสาวคิด

〈三人称代名詞〉

คน, หมา, นก

p.27 แวมหนึ่งเขานึกถึงหัวอกมัน เป็นการตีเหมือนกันที่เขาจับมันไม่ได้ เพราะนมมันก็คงต้องการอิสระถึงได้หนีจากกรง
มา ถ้าเขาจับมันได้ก็คงต้องขังมันอีก มันก็ไร้อิสระเหมือนเช่นเดิม นกมันควรอยู่ในฟ้าย่างอิสระ

p.27 มันหนีมาเพื่อไผ่หาอิสระ แล้วทำไมเขาจะต้องนำมันมาเพื่อกักขังอีกเล่า? เขาสบายใจขึ้นเมื่อคิดเช่นนั้น

p.29 เขาไม่นำไปยุ่งกับชีวิตของมันเลย เขาควรปล่อยให้มันบินไปอย่างอิสระตั้งแต่ครั้งแรก และควรจะมีบินในฟากกว้าง
อย่างสมบูรณ์ มีใบบินไปอย่างนกพิการเช่นนี้

p.29 เขา - เขาหันมองมัน พลันนึกขึ้นมาได้ว่า เพราะหมาตัวนี้แท้ๆ ที่ทำให้มันต้องห่างขาด ทำให้ชีวิตของนกเขาตัวนั้น
ต้องลำบากลำบาก - ทำให้เขาต้องเสียใจ ถ้ามันไม่เห่าเสียแต่แรก เขาก็คงไม่เห็นนก และเรื่องก็คงไม่เป็นเช่นนี้ -
เพราะมีงตัวเดียว

หายไปกับลมหายใจ

p.36 แกหันมองตามสายตาของลูกศิษย์ เป็นไปได้อย่างไรที่ร่างของแกยังนอนสงบอยู่เบื้องล่าง

p.39 ทัดมีรู้ตัวว่าเขาควรจะเป็นผู้จากไป มีเช่นนั้นแล้วเรื่องราวจะลุกลามใหญ่โต

คืนเห็นบนทาว

p.49 เธอทำอะไรอยู่หนอ ... นอนโอบกอดลูก ดูโทรทัศน์รายการวาไรตี้ หรือดูหมายเลขถึงตัวเขาซ้ำแล้วซ้ำเล่า ร้องไห้บ้าง
หรือเปล่า

วิทยานิพนธ์ดีเด่น

p.191 เขาใจหายวูบ เป็นไปไม่ได้ มันจะหายไปไหน ในเมื่อเขาจัดเก็บไว้เป็นอย่างดี จำได้ - ตอนพรินต์เสร็จ เขาจัดแจงเก็บ
ต้นฉบับพร้อมแผ่นดิสก์ไว้ในของสีน้ำตาล แล้ววางซ้อนไว้กับกองเอกสารอื่นและหนังสืออีกสามเล่ม

タイ語物語における心内思考に含まれるSELF表現

- p.191 เขายังหวังลึกๆ ว่า ไม่วันใดก็วันหนึ่งหลังจากนี้ คงมีชื่อเขาปรากฏหรืออยู่ในมหาวิทยาลัยชั้นนำของโลก เขามั่นใจ และพร้อมที่จะไป ...
- p.192 เกิดอะไรขึ้นกับเขาละนี้ วิทยานิพนธ์ของเขาหายไปไหน ไม่ – มันยังไม่หายไปไหน เขากล้ายืนยัน
- p.192 ไม่คิดสำรวจตรวจตราข่าวของตนลुकออกมา บ้าซัดๆ ช่างเลวร้ายสิ้นดี สมองของเขาอ่อนล้าถึงเพียงนี้เชียวหรือ
- p.192 เขาเชื่อ – มันคงยังวางอยู่ที่เดิม ไม่มีใครเห็นมันหรอก เพราะตอนลुकออกมา ร้านไก่ล้จะปิดเต็มท้น โชคชตาคงไม่เล่น ตลกกับเขา อย่างน้อย ไม่ยามก็ป้ายขายน้ำจงบมันเอาไว้ ทุกอย่างยังมีความหวัง
- p.193 ได้แต่แข่งซัดคำตัวเอง โชลี เขาไม่น่าขาดสติเลินเล่อถึงขนาดนี้
- p.194 ความหวังโชนแสงขึ้นมาอีกครั้ง มันต้องอยู่ในตู้โทรศัพท์ ระย้าแท้! ทำไมเขาเพิ่งจะนึกขึ้นมาได้
- p.194 ขณะนั่งเอนแท็กซี่ เขานึกวิตขึ้นมา หากคนที่เข้าไปโทรศัพท์หลังจากเขาหยิบไปละ ทุกอย่างก็จบเห่ เขาใจแป้วลงทันที
- p.198 เขายังยังไม่มั่นใจว่าจะทำได้สมบูรณ์แบบเท่าเดิม ถึงตอนนี้เขาจะทำอย่างไรได้ละ จะให้เข้าไปแย่งวิทยานิพนธ์มาจากไอ้พวกบ้านั้นหรือ ช่องทางยังมีติดติดตันเข้าไปอีก
- p.198 ไม่ – ไม่มีทาง ใจอีกด้านฮึดสู้ ว่าที่มหามันติดเช่นเขาจะสยบยอมต่อไอ้บ้ไรการศึกษาพวกนั้นนะหรือ
- p.199 ชักจะทนไม่ไหวแล้ว เขาก็เรียกรวดขึ้นมากับตัวเอง เขาจะตกเป็นเบี้ยล่างพวกมันไปตลอดหรือไม่
- p.200 เขาเชื่อมั่นว่าเขาทำได้
- p.201 โอ ... เขาไม่ใช่แค่ถูกพวกบ้าก่อกวนธรรมดาๆ แต่กำลังถูกบดขยี้พลังที่ร้ายแรงเสนาจนเข้าให้แล้ว วาบหนึ่งของความคิดผุดขึ้นมา เขากล้ายืนยันพันธงลงไปว่า (...)
- p.202 เขาคิด ทำไมเขาถึงกลัวตำรวจสายตรวจขนาดนั้น ในเมื่อเขาเป็นพลเมืองดีคนหนึ่ง หาใช่ชาตกรที่กำลังแอบซุ่มก่ออาชญากรรม
- อดัมกับลิธิ*
- p.117 แต่ความแข็งแกร่งของลิธิก็ทำให้ผู้ชายกลัว กลัวว่าเธอจะควบคุมเขา กลัวว่าตัวเองจะสูญเสียอำนาจไป
- p.124 แม่สาวน้อยรู้อยู่แล้วว่ามีเป็นอย่างไร เธอรู้ว่าผมไม่ได้สนใจเธอ และข่าวนี้จะไม่สร้างความยินดีให้ผมแน่
- สิงโตนอกคอก*
- p.198 แต่ไม่หรอก พวกมันไม่มีทางรู้ว่าเขาอยู่ในบ้านหลังไหนบนถนนที่เต็มไปด้วยบ้านร้างขนาดนี้ นึกสันคิด
- p.199 ถ้าหากว่าเขาทนทานต่อความหนาวได้ละก็นะ ชายหนุ่มมองไปรอบๆ (...)
- P.202 แชนตีคิดว่าอีกไม่นานเธอคงถูกจับไปประหารชีวิต พ่อและแม่ของเธอก็อาจจะโดนด้วย

- P.203 แชนตีสงสัยว่าในวันนี้ใครผู้ชายจะยังเอนดูเธออยู่ไหมนะ หลังจากเธอทำผิดร้ายแรงขนาดนั้น
- P.214 บางทีถ้าเขากล้าเข้าไปคุยกับแซคครีบ้าง เขาอาจจะได้ทำในสิ่งที่คนอื่นคิดว่าเป็นไปได้ ... เขาอาจจะได้เป็นเพื่อนกับแซคครี นิกสันสายหน้าให้กับความเพ้อเจ้อของตัวเอง
- P.225 นิกสันยังงงงงง เพื่อนั้นหรือ? เขาไม่มีเพื่อนตาดำสักคน

〈自身名詞〉

หายไปกับลมหายใจ

- p.37 แกดคิดไม่ได้ว่า แม้ว่าตายแล้วตัวเองยังมีความสำคัญอยู่ ลูกศิษย์ยังให้ความเคารพ คนทั่วไปยังให้ความนับถือ
- คืนเหน็บหนาว
- p.48 เขาคิดว่า ตนเองไม่ได้เกลียด เพียงแต่ไม่เคยมีความรู้สึกภูมิใจต่อพ่อสักนิด ไม่โทษหายามห่างเหิน คล้ายเป็นแค่คนรู้จัก พ่อที่ทำให้ลูกเกิดความรู้สึกเช่นนี้ เป็นคนประเภทไหนกันหนอ ... ไม่ขมขื่นใจบ้างหรือไร เมื่อหากคุณค่าไม่ได้ในสายตาลูก
- p.49 พยายามคิดว่า ตัวเองเดินวนอนุสาวรีย์ไปกี่รอบ ขณะกวาดสายตาเลือนลอย
- ฟ้าเดียวกัน
- p.209 ฟ้าเดียวกันเคยได้ข้อสรุป – หรือตัวเองกำลังประสบปัญหาชีวิต ถึงคิดย้อนไปถึงการกำเนิดมนุษย์
- p.218 ฟ้าเดียวกันเข้าใจดีว่า คนเราย่อมมีสิทธิส่วนตัวอันพึงสงวนไว้ แต่ในเมื่อตัวเองคงสถานะหลายๆ ด้านของสังคมก็ต้องแยกแยะให้ได้ว่าควรวางตัวเช่นใดให้เหมาะสม ไม่ใช่เอะอะอะไรก็ทำตัวเป็นศิลปินขึ้นมาตะพึดตะพือ โดยไม่สนใจโยตีความรู้สึกของชาวบ้านชาวช่องเอาเสียเลย มันจะสูญเสียตัวตนสักขนาดไหนกับการงดยหน้าขึ้นมาคุยกับคนอื่นบ้าง และที่สำคัญคนเหล่านั้นล้วนแต่ศรัทธาในตัวพ่อ

อดัมกับลิลิธ

- p.116 และชตาชีวิตของผู้ชายทุกคนก็จะจบลงที่ ... เขาได้พบว่าตัวเองเป็นไอ้สวะที่สืบทอดส่วนที่แย่ของพ่อมาอย่างไม่มีผิดเพี้ยน เขาเห็นแม่ของตัวเองในแวตตาของคนรักและเขาก็ผิดหวังกับภาพสะท้อนในกระจก
- p.117 แต่ความแข็งแกร่งของลิลิธก็ทำให้ผู้ชายกลัว กลัวว่าเธอจะควบคุมเขา กลัวว่าตัวเองจะสูญเสียอำนาจไป

〈親族名〉

ถ้าผมเป็นพ่อ

- p.26 พ่อรู้ดีว่า ลูกชายพ่อไม่ใช่คนฉาบฉวย

คืนเหน็บหนาว

タイ語物語における心内思考に含まれるSELF表現

p.48 เขาคิดว่า ตนเองไม่ได้เกลียด เพียงแต่ไม่เคยมีความรู้สึกภูมิใจต่อพ่อสักนิด ไม่โทษหายามห่างเหิน คล้ายเป็นแค่คน
รู้จัก พ่อที่ทำให้ลูกเกิดความรู้สึกเช่นนี้เป็นคนประเภทไหนกันหนอ ... ไม่ขมขื่นใจบ้างหรือไร เมื่อหากคุณค่าไม่ได้ใน
สายตาลูก

ฟ้าเดียวกัน

p.224 ฟ้าเดียวกันกลับมาตั้งคำถามอีกครั้ง ถ้าเป็นพ่อ แล้วทำไมถึงทำกับลูกได้ถึงเพียงนี้

Quasi-Monologue (Dialogue imagined)

〈固有名〉

ฟ้าเดียวกัน

p.228 แม่จ๋า แล้วใครเล่าลิขิตก่อนเนื้อก้อนนี้ให้หล่นร่วงลงตรงนี้ มันเป็นความผิดของใครหรือ แม่จ๋า ช่วยตอบฟ้าเดียวกัน
ด้วย